

❁ ハラスメント

大学における人間関係は、自由で平等であり、互いに相手を尊重しあうことが基盤になります。ハラスメントとは、相手の意に反する不適切な言動によって相手を不快にさせたり、不利益や損害を与えることによって、本学で学び、研究し、働く環境を悪化させることをいいます。ハラスメント（セクシュアル・ハラスメントおよびその他のハラスメント）は、個人の人権を侵害するものであり、いかなる場合にも許されるものではありません。本学では、大学の構成員すべての人権を擁護するために「ハラスメントの防止等に関する規程」を設け、ハラスメントの防止に努めています。また、ハラスメントに関する問題の相談窓口としてハラスメント相談員を配置し相談に応じています。

❖ ハラスメントとは

ハラスメントにはいろいろなかたちがあります。ここでは 4 種類のハラスメントについて説明します。

① セクシュアル・ハラスメント

就学上・就労上の優位な地位や上下関係を利用し、男女間または同性間における「性的嫌がらせ、性的なからかい、性的ないじめ、性的暴力」のことを言います。

② アカデミック・ハラスメント

研究・教育の場における、権力を利用した嫌がらせや差別のことです。性別を問わず、研究活動、教育指導の場において暴力的発言や行為などで相手に身体的・精神的苦痛や極度の不快感を与えることを言います。

③ パワー・ハラスメント

就学上・就労上の立場を利用して、その影響力を濫用する言動のことです。指導の範疇を超えて、継続的に相手の人格と尊厳を侵害する言動を言います。

④ ジェンダー・ハラスメント

ジェンダー（社会的・文化的性別）規範を押し付けたり、それを望む言動によって相手を不快にさせることです。

❖ ハラスメントを防ぐために

- ① 無意識の何気ない言葉が相手の心を傷つけることになるかもしれません。「相手の立場に立って考える、相手の嫌がる行為をしない」という、人としてごくあたりまえの心配りが大切です。
- ② 自分が不快に感じたら、それを相手に明確に伝えましょう。相手に不快感を伝えた後にも同じ行為が繰り返されたら、身近な人に相談しましょう。
- ③ 周囲で起こっているハラスメントだと自分が感じる行為を見過ごさないで、勇気を出して注意をしましょう。

❖ もしも被害を受けたら！

- ⇒ 嫌なことは嫌と、はっきり抗議しましょう。
- ⇒ いつ、どこで、何をされたか記録しておきましょう。
- ⇒ 友人や身近な人にすぐ話しましょう。

本学には、ハラスメント防止委員会やハラスメント相談員制度が設けられており、あなたの人格の尊厳と人権を擁護するため厳正に対応いたします。ひとりで悩まないで相談員に相談してください。あなたのプライバシーは厳しく守られますし、あなたの意思は最大限尊重されます。